

NEWS RELEASE

2018年1月4日

三重県松阪市京町510番地
株式会社 第三銀行

2018年 年賀式での「頭取年頭訓示」について

株式会社第三銀行（頭取 岩間 弘）は、別紙の通り 2018年「年賀式」を行い、頭取より年頭の「訓示」がありましたのでお知らせいたします。

記

1. 年頭訓示内容

別紙「年頭訓示（要約）」をご参照下さい。

※頭取の年頭訓示は全店（98か店）に配布し、朝礼にて支店長が代読をいたしました。

2. 年賀式

- (1)日 時 2018年1月4日（木） 午前8時45分
- (2)場 所 当行本店 3階 大会議室
- (3)出席者 役職員約 150名
- (4)式次第 経営理念の唱和
年頭訓示

以 上

〔お問い合わせ先〕

担 当	総合企画部 広報課	須 賀	0598-25-0363
-----	-----------	-----	--------------

キラリと光るあなたの銀行



年頭訓示(要約)

皆さん、明けましておめでとうございます。

こうして健やかに皆さんと新年を祝うことが出来ますことを、大変嬉しく思います。

さて、昨年の国内経済は、円安を追い風に製造業を中心に輸出企業の収益が改善したほか、日経平均株価が26年ぶりの高値に回復するなど、総じて順調に回復軌道を歩んだ1年であったと思います。

そうした中、本店を構える三重県では、4月から5月にかけて「全国菓子大博覧会」が開催され、全国から60万人近い方が訪れました。また、愛知県では、名古屋駅周辺の再開発ビルが相次いでオープンするなど、地元では明るい話題の多い1年でした。今年は東海地区でインターハイが開催されますし、リニア中央新幹線の建設が本格化するなど、当地区では今後も明るい話題が続きます。

一方で、大手企業においてコンプライアンスに反する事件が相次いだ1年でもありました。

こうした事件を背景に、今年はこれまで以上に、企業倫理を問われる年になるものと思われます。私達金融機関においても、フィデューシャリーデューティーの徹底など、コンプライアンスという観点からだけではなく、真にお客様のために働いているのかという観点から、より厳しく企業倫理が問われる年になるものと思われます。

地域金融機関の経営環境は、「マイナス金利政策」による資金利益の減少に加え、少子高齢化の進展による地域の人口減少、FinTechなどの技術革新を通じた異業種からの金融分野への進出など、厳しさが増す中、取引金融機関として選んでいただくためには、他のどの金融機関よりも強くお客様第一の企業倫理を確立していくことが必要です。

昨年、当行は、お客様のお役に立つ金融サービスを提供し続けるための経営基盤を確立するため、三重銀行との経営統合という道を選択しました。

「三十三フィナンシャルグループ」の「三十三」は、当行と三重銀行のそれぞれの強みをプラスすることで、地域とともに成長し、活力あふれる未来の創造に貢献したいという思いを込めています。両行の強みを相互に活かし、新しい企業文化・ビジネスモデルを構築することで、行員一人ひとりが輝き、今まで以上に地域経済の活性化に貢献できる金融グループとなることを目指して、両行の役職員全員が一丸となって取り組むことが必要です。

昨年の干支である「酉」は、もともとは酒つぼを意味しており、収穫した果実から酒をつくるという意味から、熟した果実を収穫できる状態にあることを表すと言われていています。今年の干支である「戌」は、作物を刃物で刈り取りひとまとめに締めくくることを表しているそうです。「酉」が熟した果実を収穫できる状態だとすれば、「戌」はそれを収穫した状態だと考えられます。

これを私達に当てはめると、私達が先輩から引き継ぎ、心を込めて育てて十分に熟した第三銀行グループという果実を収穫し、その種をこれから育てて「三十三フィナンシャルグループ」という大きな花を咲かせるということになります。

本年、「三十三フィナンシャルグループ」としての新しい歴史が始まります。新しい歴史の最初のページが真に輝かしいものになるよう、私も先頭に立ち、明るく前向きに、そして全力で取り組んでまいります。本年が第三銀行グループおよび役職員皆さん一人ひとりにとって、大きな飛躍の年となることを心から祈念いたしまして年頭の挨拶といたします。

以上